

[1]

| | |
|---------|---|
| 氏 名(本籍) | 西村 昇二(京都府) |
| 学 位 | 博士(学術) |
| 学位記号番号 | 博乙第19号 |
| 学位授与年月日 | 平成12年3月8日 |
| 学位授与の要件 | 学位規則第5条第2項該当 |
| 論 文 題 目 | アリウム属植物成分の抽出と合成及び抗菌作用と 抗肝臓毒作用の研究 |
| 論文審査委員 | (主査) 教授 谷村 顯雄 教授 木村 修一 教授 福場 博保 静岡産業大学 教授 富田 熊 |

ニンニク (*Allium sativum L.*) から生成するallicinは強い抗菌力を示すが、それ自体は極めて不安定である。n-propyl polysulfide monosulfoxide類も抗菌性を有するが安定であるため、これら一群の化合物について化学構造および生物活性を検討した。

これらの物質を結晶性物質と無臭性物質とに分離し、スルフィドとしてs-alkylmercapato-L-cysteineを、スルフォオキシドとしてAlliinを選択し、さらに試料としてニンニク精油成分（主成分はDiallyl disulfideとdiallyl trisulfide）を加え、ラット肝臓毒に対する作用を検討した結果、S-allylmercapto-L-cysteineおよび精油成分が肝臓毒抑制作用を示した。

また、それら物質の作用機序についても検討を行った。